

企画展

「くらしのうつりかわり展～多聞新八がえがいた明石～」



手記『消えゆく過去の想出』

開催概要

明石のうどん屋の店主“多聞新八”さんは、自らが見て聞いて体験した約100年前の人々の生活や文化を、絵や文と川柳をつかって手記として残しました。

新八さんは明石の大蔵町で生まれ、人丸小学校を卒業し、20歳のとき戦争で中国に出征して、戦後は林でうどん屋を始め・・・と、明石で生まれ育ち、激動の昭和時代を生きた方です。

子ども時代の遊びや日々の生活、町並みと様々な商売人や職人たちの姿、祭りの夜店や正月といった特別な日の様子など、当時のくらしぶりが温かい絵柄と文章で鮮明にえがき出されています。手記の中には戦争が激化していくなかでの国内の様子やつらい軍隊生活、終戦後の物資不足に苦しむ様子などに触れたものもあり、生々しいまでの記録の数々は後世に伝えるべき貴重な資料でもあります。

今回の展示では、新八さんの手記や道具などを、博物館の資料とともに展示します。ぜひ当時の人々の生活や考えに触れて、体感して下さい。

本展の広報用画像や読者・視聴者用プレゼント招待券もご用意しておりますので、ご希望の場合は別紙のFAX用紙にてご連絡ください。ご不明な点などございましたら、ご連絡くださいませ。ぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

会 期 2025年1月25日（土）～3月16日（日）

開館時間 9：30～17：30（入館は17：00まで）

会 場 明石市立文化博物館 1階特別展示室

休館日 月曜日 ※2月24日(月・祝)は開館

観覧料 大人200円、大高生150円、中学生以下無料
※20名以上の団体は2割引
※シニアいきいきパスポート提示で無料
※65歳以上の方半額
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳・ミライロID手帳提示の方と介護者1名は半額

主 催 明石市立文化博物館

展示構成

プロローグ うどん屋店主のえがいた記録

・新八さんってどんな人？自分の体験をえがいた理由

第一章 新八さんの家族とその役割

・家族と過ごす日常風景

第二章 町の様子と買い物

・楽しかった小学校生活

・日常に戦争の影響が・・・

第三章 徴兵され戦地へ向かう

第四章 終戦と戦後の新八さん

・うどん屋の店主になる

関連イベント

※高校生以上の方のイベントのご参加には当日の観覧券が必要です。

※②は事前申し込みが必要です。

- ① **おっちゃんの紙芝居** *申し込み不要
日時：2月9日(日)、2月23日(日)、
3月2日(日)、3月16日(日)
いずれも14時～(各回30～40分程度)
場所：1階体験学習室
定員：各回40名
演者：阿部元則氏(紙芝居師)
当日先着順。13時より整理券を配布。
定員に達し次第受付終了
- ② **ギャラリートーク** *申し込み不要
昔の生活を聞いて、体験してみよう！
展示を見ながら昔の生活についてお話しします。
道具の体験もできるよ！
日時：2月9日(日)、2月23日(日)、
3月2日(日)、3月16日(日)
いずれも10時～(各回30分程度)
場所：1階特別展示室、ロビー
講師：当館学芸員
- ③ **ワークショップ** *要事前申込み
足踏み式ミシンを使って布を縫ってみよう
日時：3月8日(土)
10:00～、11:00～、14:00～、15:00～
(各回50分程度)
場所：1階体験学習室
定員：各回2名(対象：小学3年生以上)
締切：2月28日(金)必着

③の申込方法

Webフォーム、往復はがきにてお申込ください。

〈往復はがきの場合〉

「イベント名、希望時間、参加者全員の氏名(付添いも含む)、参加人数(1組2名まで)、代表者の郵便番号・住所・電話番号」を書いて当館までお送りください。

- ・1通につき1つのイベントのみ有効。応募者多数の場合は抽選。
- ・希望のイベント名や連絡先が明記されていない場合は応募が無効になることがあります。
- ・ご記入いただいた個人情報は、イベントの当落通知にのみ使用します。
- ・イベントでは手話通訳者・要約筆記者の派遣ができます。希望の方は、応募時に【手話通訳希望】【要約筆記希望】と明記してください。事前申込み不要のイベントで希望される場合は開催の10日前まで電話もしくは当館HPの問い合わせフォームよりご連絡ください。

〈Webフォームの場合〉

下記のフォームからもしくは当館ホームページより申込みください。



広報用画像

企画展「くらしのうつりかわり展—多聞新八がえがいた昔の明石—」の画像データをプレス掲載用にご用意しております。使用を希望される際は本書面最終頁の別紙、申込用紙にご記入のうえ FAX またはメールで返送をお願いいたします。



1 手記「消え行く過去の想出」



2 かまど



3 手記『私の半世紀一号』



4 手記『想出の軍隊生活』



5 千人針



5 手記『戦後の想出 第一号』

■■お問合せ先■■ 明石市立文化博物館 展示担当学芸員:吉本 / 広報担当:中山
 〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号
 TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409
 Email: press@akashibunpaku.com

企画展

「くらしのうつりかわり展～多聞新八がえがいた昔の明石

FAX ご連絡先 (078)918-5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名様まで)もご用意しておりますので、ご連絡ください。

番号	キャプション及びクレジット
1	手記「消え行く過去の想出」
2	かまど
3	手記『私の半世記一号』
4	手記『想出の軍隊生活』
5	千人針
6	手記『戦後の想出 第一号』

貴社名	
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	TEL FAX
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着希望日	
招待券希望枚数	組 名分希望

- ・データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
- ・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
- ・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ・本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。